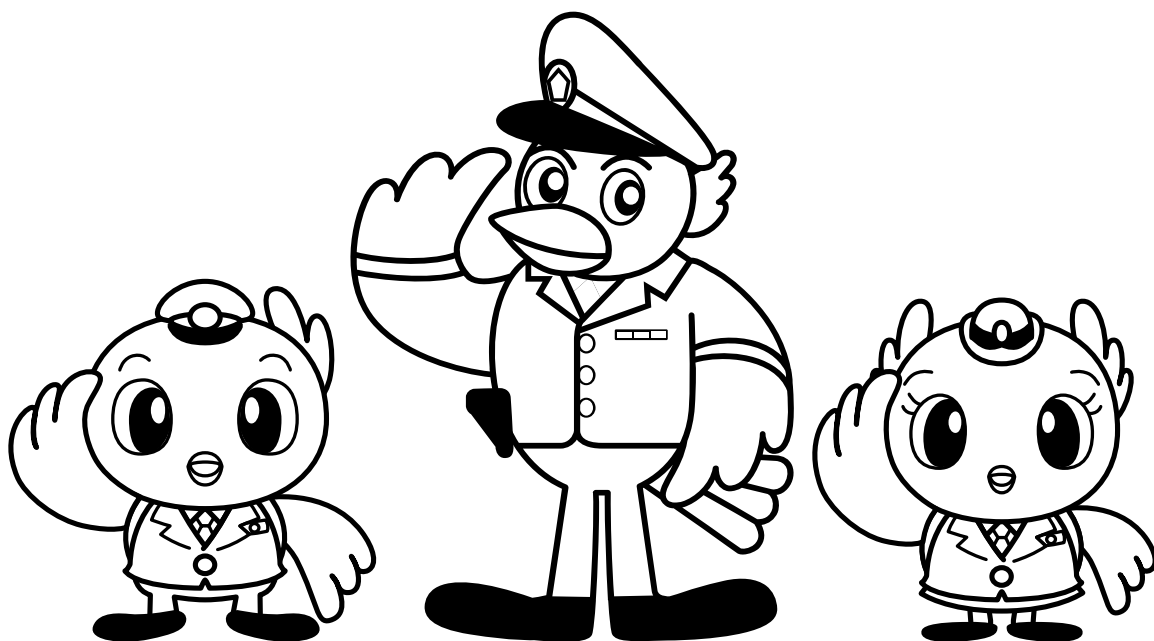


令和 6 年 1 月

令和 5 年中の 交通事故発生状況



茨城県警察本部交通部交通総務課

目 次

1	概況	1
2	飲酒運転による交通事故	5
3	小学生・中学生・高校生が関係した交通事故	7
4	自転車が関係した交通事故	9
5	高齢者(65歳以上)が関係した交通事故	11
6	高齢(65歳以上)運転者による交通事故	13
7	シートベルト着用状況	15
8	令和6年の交通安全年間スローガン	16

※ 本資料は、令和6年1月18日までに入手したデータにより作成

令和5年中の人身交通事故発生状況

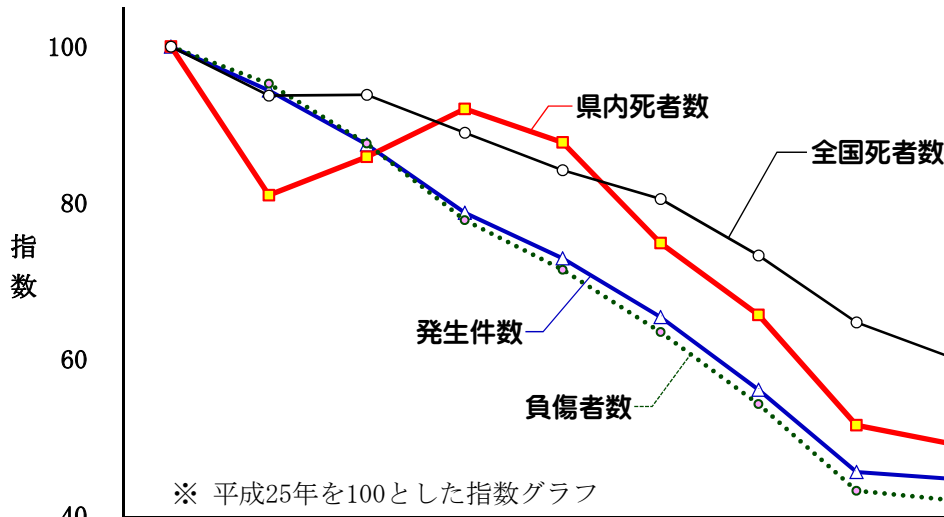
1 概況

県内の人身交通事故・全国死者数の推移(平成25年～令和5年)

死者数は93人、2年連続増加

- 発生件数は6,489件、令和3年まで21年連続で減少したが、令和4年から2年連続で増加。
- 死者数は93人、令和3年まで5年連続で減少したが、令和4年から2年連続で増加。
- 全国の死者数は2,678人(前年比+68人)で、平成28年から7年連続で減少したが、令和5年は増加。

	発生件数		死者数	負傷者数
		うち死亡		
令和5年	6,489	92	93	7,885
令和4年	6,271	88	91	7,699
増減数	+218	+4	+2	+186
増減率	+3.5%	+4.5%	+2.2%	+2.4%



	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
県内発生件数	13,279	12,534	11,613	10,455	9,679	8,682	7,447	6,049	5,929	6,271	6,489
県内死者数	163	132	140	150	143	122	107	84	80	91	93
県内負傷者数	17,281	16,460	15,135	13,441	12,344	10,965	9,372	7,455	7,243	7,699	7,885
死者数ワースト順位	10位	11位	11位	8位	9位	10位	9位	11位	11位	9位	10位
全国死者数	4,388	4,113	4,117	3,904	3,694	3,532	3,215	2,839	2,636	2,610	2,678

死者数は全国ワースト10位、人口当たりでは12位

- 死者数(93人)の全国順位はワースト10位(前年9位)で、2年連続のワースト10圏内。人口10万人当たりはワースト12位(前年11位)、自動車1万台当たりではワースト17位(前年18位)。

死者数ワースト都道府県

順位	都道府県	死者数	前年比
1位	大阪	148	+7
2位	愛知	145	+8
3位	東京	136	+4
4位	北海道	131	+16
5位	千葉	127	+3
6位	埼玉	122	+18
7位	神奈川	115	+2
8位	福岡	103	+28
8位	兵庫	103	-17
10位	茨城	93	+2
11位	広島	78	+4

人口10万人当たり

順位	都道府県	死者数
1位	徳島	4.03
2位	三重	3.82
12位	茨城	3.29
	全国平均	2.15

自動車1万台当たり

順位	都道府県	死者数
1位	徳島	0.45
2位	青森	0.45
17位	茨城	0.35
	全国平均	0.32

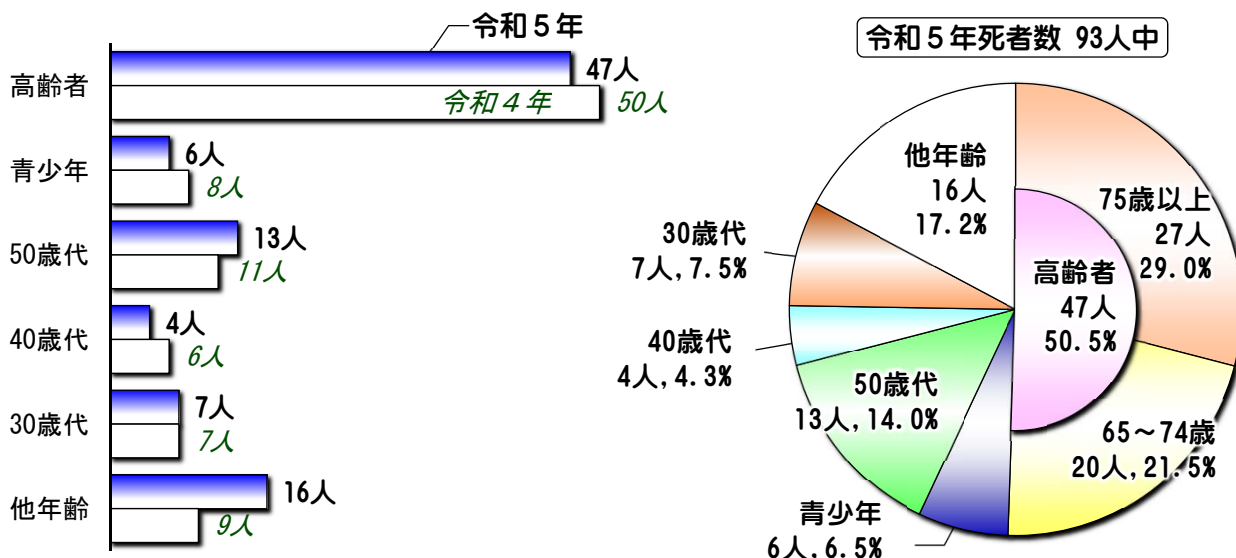
- **死者数93人**
全国ワースト10位
【前年9位】
- **人口10万人当たり死者数**
全国ワースト12位
【前年11位】
- **自動車1万台当たり死者数**
全国ワースト17位
【前年18位】

※ 参照人口はR5/10/31現在、参照自動車台数はR4/12/31現在

年齢層別死者数

高齢者の死者数が5割を超える

- 高齢者(65歳以上)が47人で、全死者数の50.5%を占めるとともに、平成6年以降連続して死者数の最も多い年齢層【高齢者の死者数47人は、全国ワースト9位】
高齢者の年齢層別では「75歳以上」が27人と多い。
- 前年比では「50歳代」(+2人)が最も増加、「高齢者」(-3人)が最も減少。
「30歳代」(±0人)は同数、「40歳代」(-2人)は減少。

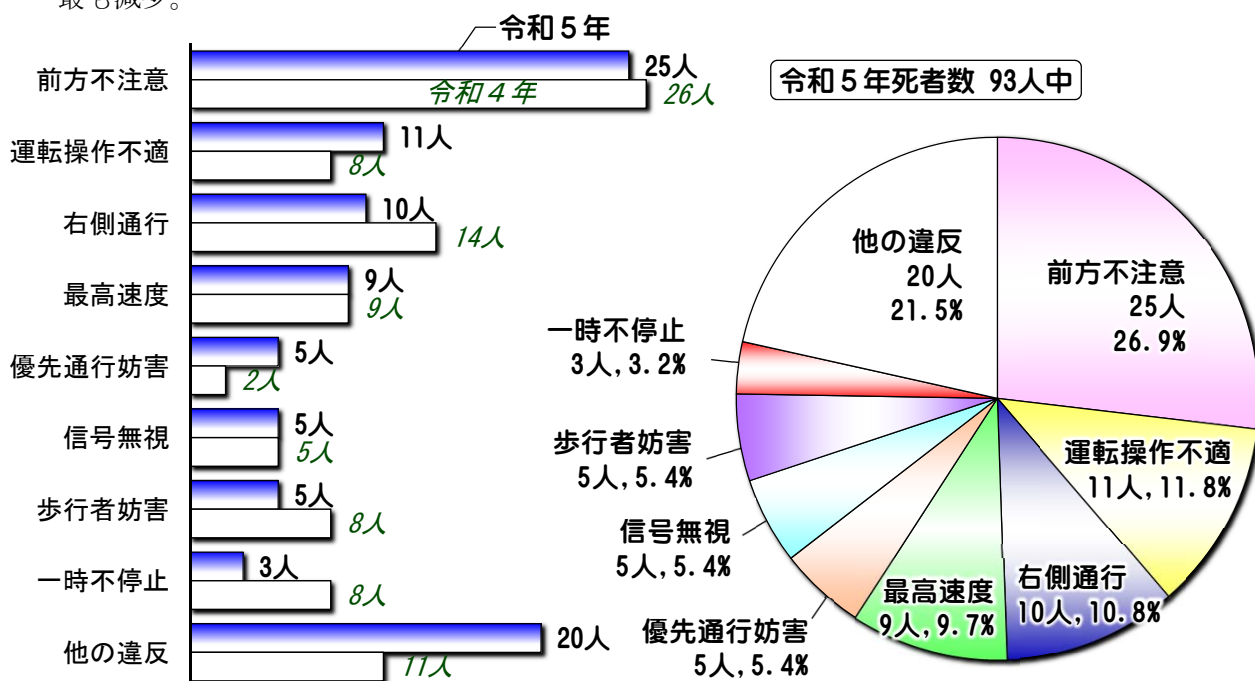


※ 「高齢者」は65歳以上、「青少年」は16~24歳、「他年齢」は15歳以下、25~29歳、60~64歳の合計。

第1当事者の原因別死者数

前方不注意が最多、次いで運転操作不適

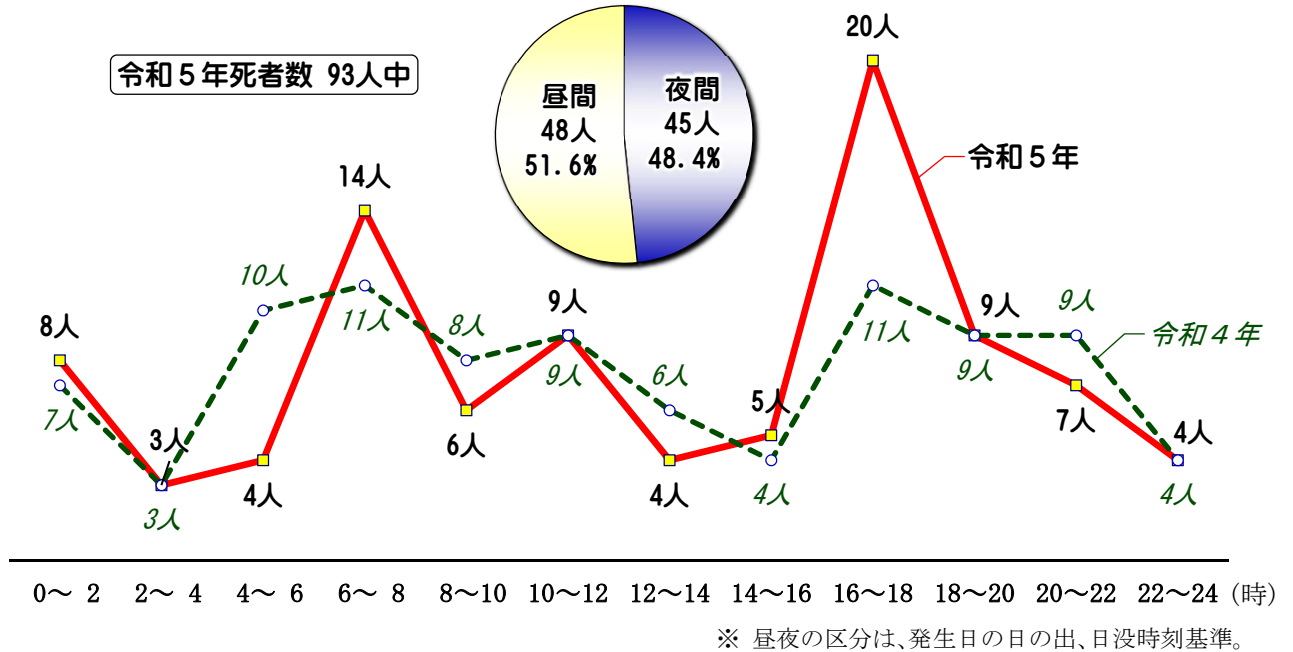
- 「前方不注意」による死者数が25人で、全死者数の26.9%を占め最も多く、次いで「運転操作不適」(11人)。
- 前年比では「運転操作不適」・「優先通行妨害」(各+3人)が最も増加、「一時不停止」(-5人)が最も減少。



時間帯・昼夜別死者数

昼間が5割を超える、時間帯では16～18時が最多

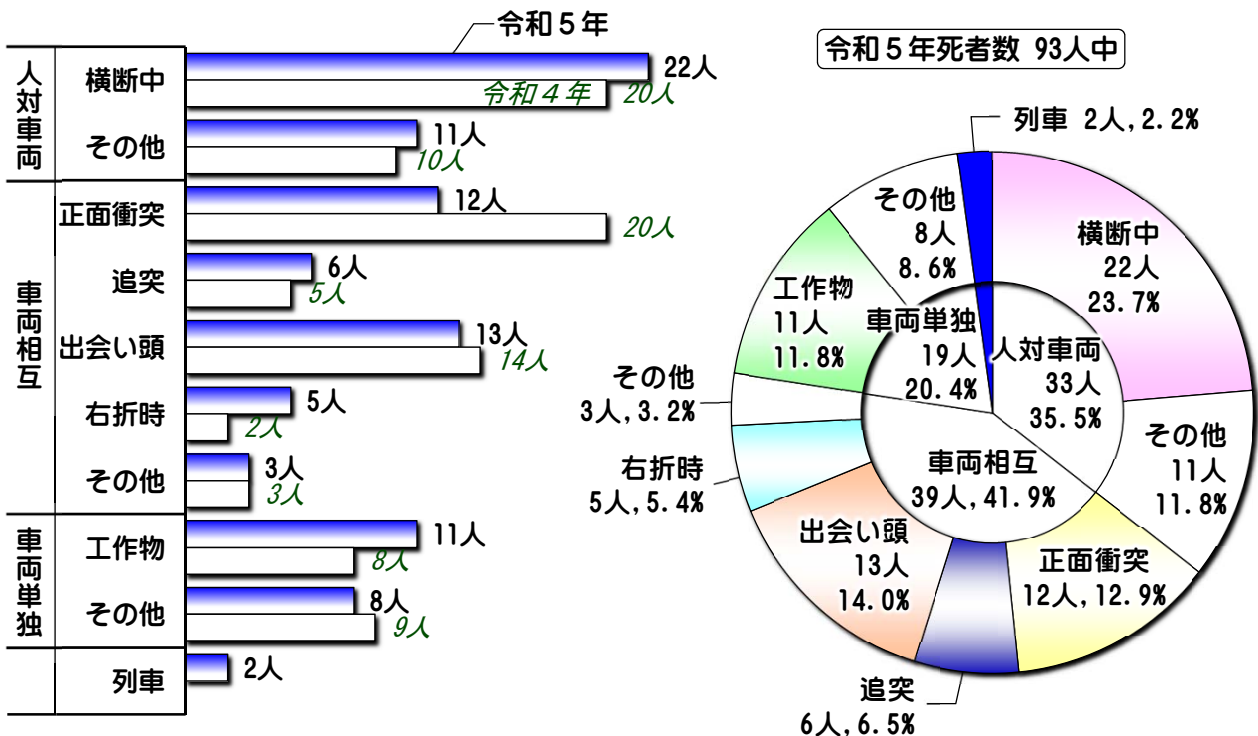
- 時間帯では「16～18時」(20人)が最も多く、次いで「6～8時」(14人)。前年比では「16～18時」(+9人)が最も増加、「4～6時」(-6人)が最も減少。
- 昼夜別では「昼間」が48人で、全死者数の51.6%を占め、「夜間」は45人(48.4%)。前年比では「昼間」(+8人)が増加、「夜間」(-6人)は減少。



事故類型別死者数

人对車両-横断中が最多

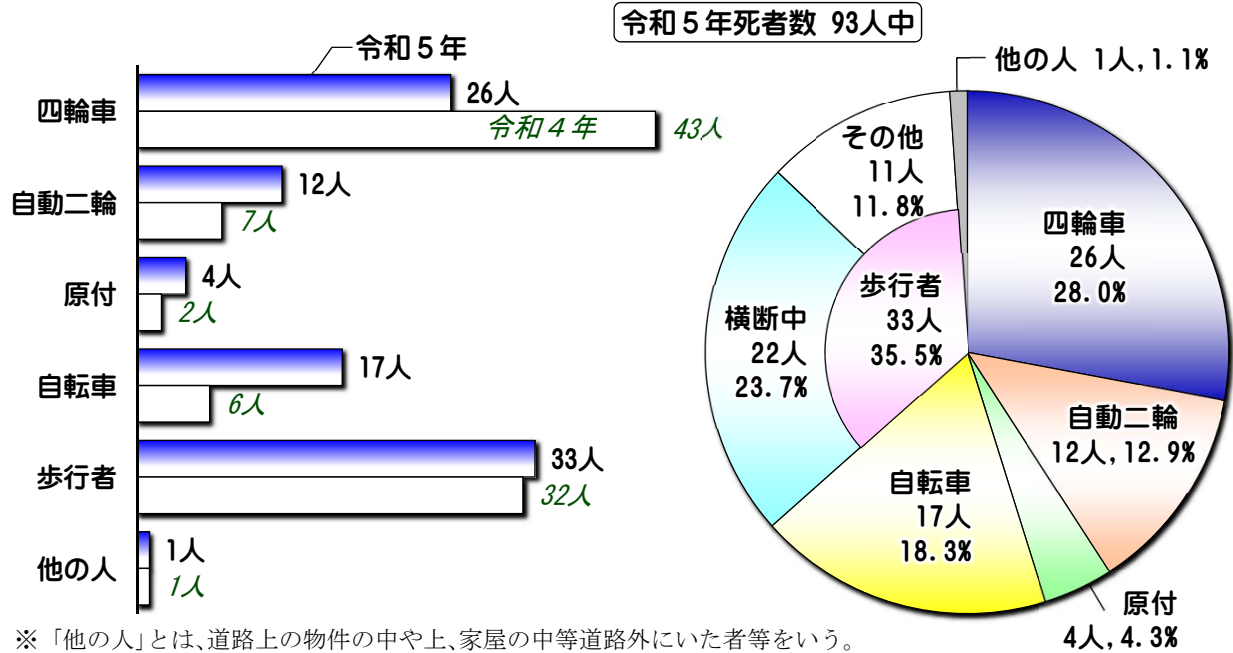
- 「車両相互」が39人で、全死者数の41.9%を占め最も多く、次いで「人对車両」(33人)。
- 小類型では「人对車両-横断中」(22人)が最も多く、次いで「車両相互-出会い頭」(13人)。前年比では「車両相互-右折時」・「車両単独-工作物」(各+3人)が最も増加、「車両相互-正面衝突」(-8人)が最も減少。



状態別死者数

歩行者が最多、次いで四輪車

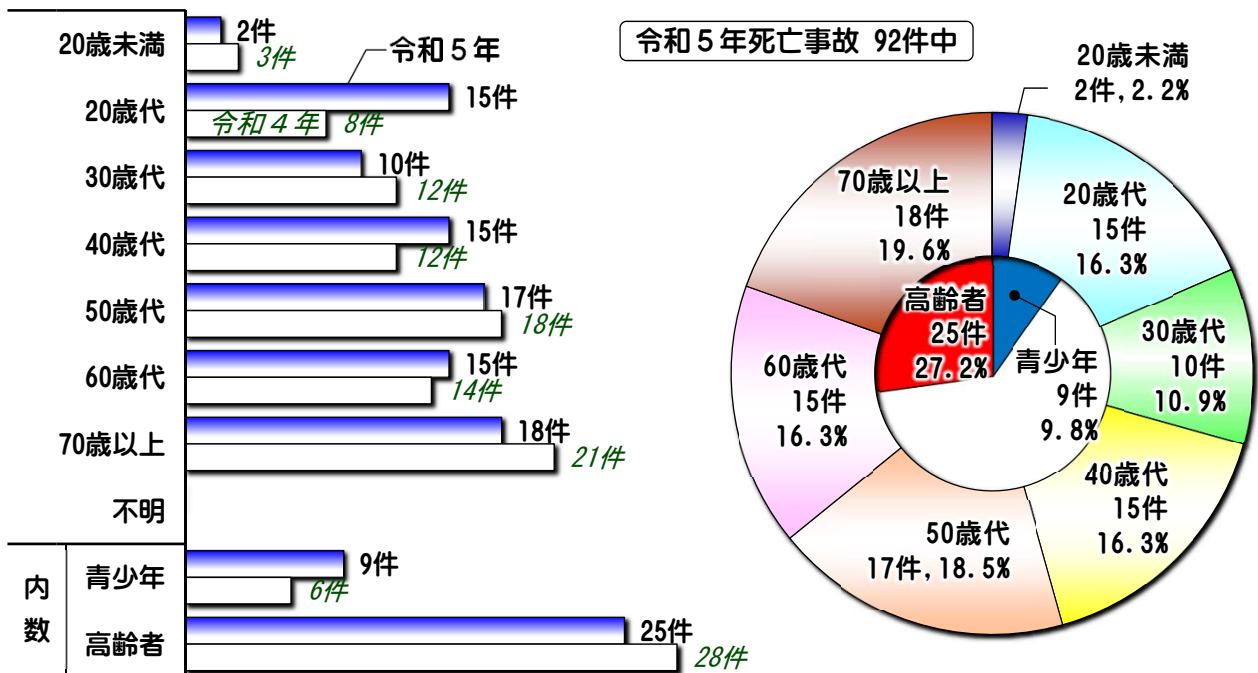
- 「歩行者」が33人で、全死者数の35.5%を占め最も多く、次いで「四輪車」(26人)。
- 前年比では「自転車」(+11人)が最も増加、「自動二輪」(+5人)、「原付」(+2人)、「歩行者」(+1人)は増加、「四輪車」(-17人)は減少。



第1当事者の年齢層別死亡事故件数

70歳以上が最多

- 「70歳以上」が18件で、全死亡事故の19.6%を占め最も多く、次いで「50歳代」(17件)。
- 前年比では「20歳代」(+7件)が最も増加、「70歳以上」(-3件)が最も減少。
- 内数の「青少年」は9件(+3件)、「高齢者」は25件(-3件)。



※1 「高齢者」は65歳以上、「青少年」は16～24歳で内数。
 2 第1当事者には「自転車」、「歩行者」、「ひき逃げ不明」を含む。

2 飲酒運転による交通事故

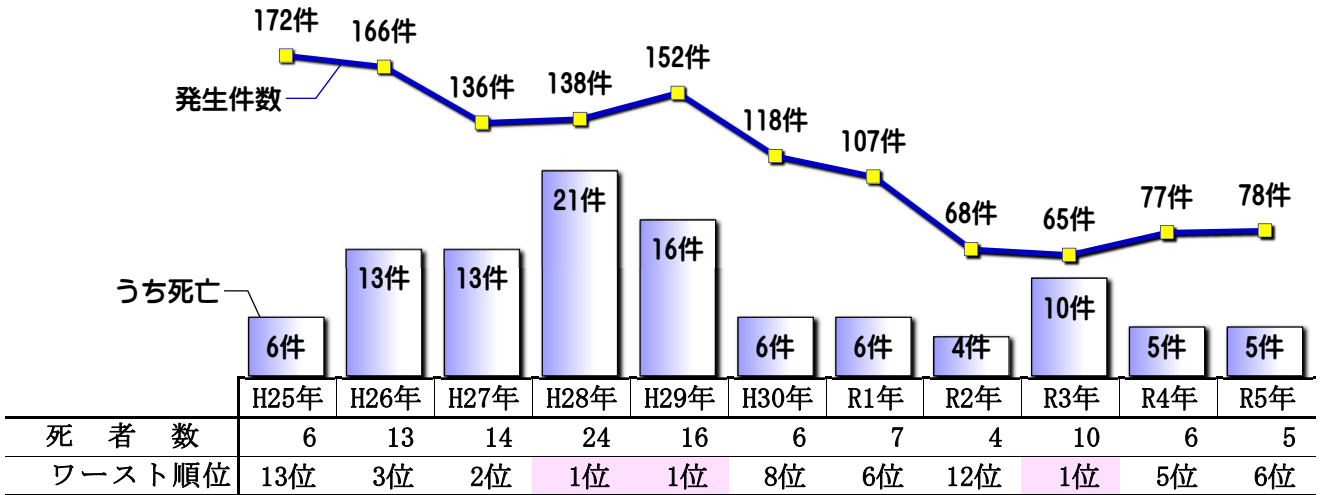
飲酒運転による交通事故の推移(平成25年～令和5年)

発生件数は2年連続増加

- 発生件数は78件、減少傾向で推移したが、令和4年から2年連続で増加。
全人身事故発生件数に占める割合(構成率)は1.2%(前年1.1%)。
- 死亡事故(件数)は5件(前年比±0件)で前年と同数、死者数は5人(前年比-1人)と減少。全死亡事故(件数)に占める割合(構成率)は5.4%(前年5.7%)。
- 死者数5人は、全国ワースト6位【前年5位】※3。

	発生件数		死者数	負傷者数
		うち死亡		
令和5年	78	5	5	107
令和4年	77	5	6	99
増減数	+1		-1	+8
構成率	1.2%	5.4%	5.4%	1.4%

※「構成率」は、全交通事故に占める割合。

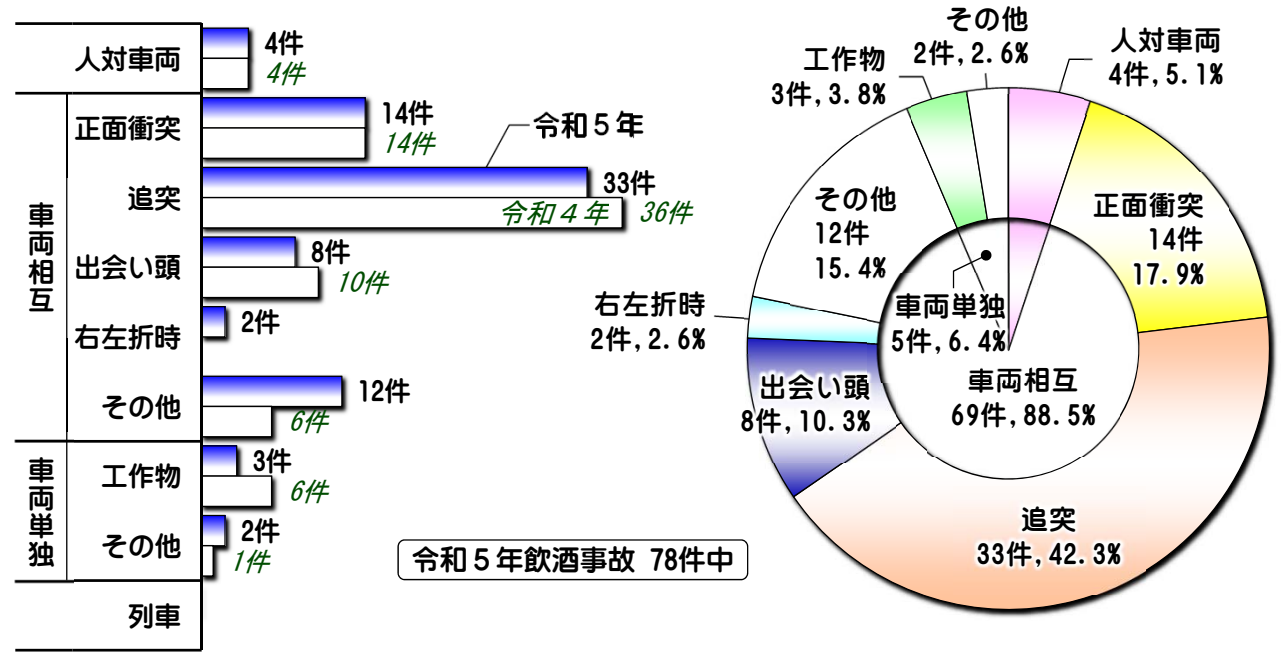


※1 発生件数は、原付以上の飲酒運転者が第1当事者となった事故件数。死者数、負傷者数は、その事故による全被害で、飲酒運転者が死傷しているとは限らない。以下同じ。
 2 死亡事故件数は、発生件数の内数。
 3 令和5年の死者数のワースト順位は、令和6年1月18日抽出時の速報値を基にしており、今後変更される可能性がある。

事故類型別発生件数

車両相互-追突が最多

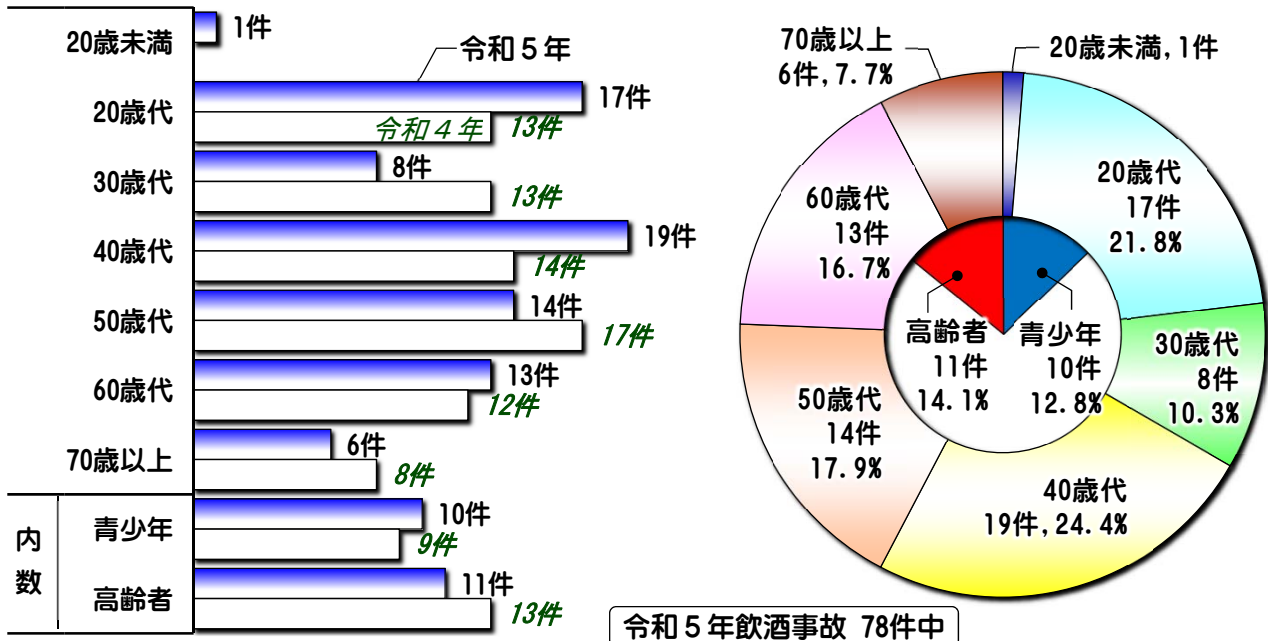
- 「車両相互」が69件で、88.5%を占める。
- 小類型では車両相互の「追突」(33件)が最も多く、次いで車両相互の「正面衝突」(14件)。



第1当事者の年齢層別発生件数

40歳代が最多

- 「40歳代」が19件で最も多く、次いで「20歳代」(17件)。
- 内数の「青少年」は10件、「高齢者」は11件。

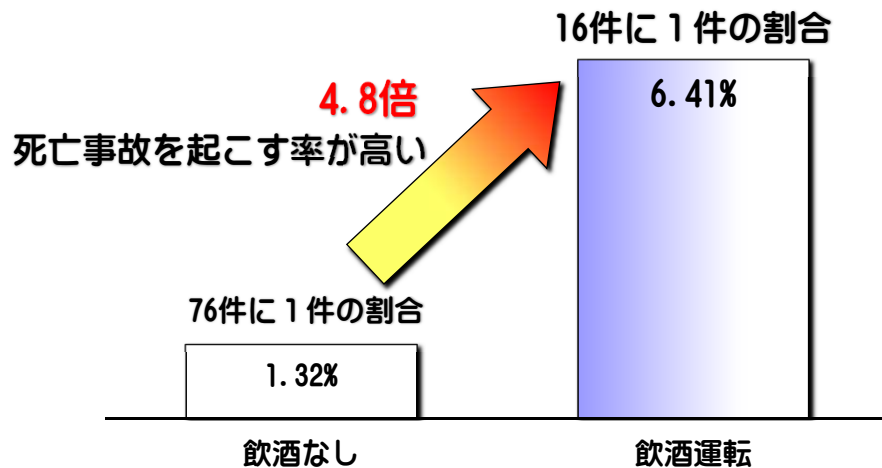


※ 「高齢者」は65歳以上、「青少年」は16～24歳で内数。

運転者死亡事故率の比較

飲酒運転者は約5倍も死亡事故を起こしやすい

- 飲酒運転者は、飲酒なしの運転者に比べ4.8倍死亡事故を起こす率が高い。



	運転者の飲酒有無		合計(平均)
	飲酒なし	飲酒運転	
発生件数	6,203	78	6,281
うち死亡	82	5	87
死亡事故率	1.32%	6.41%	1.39%

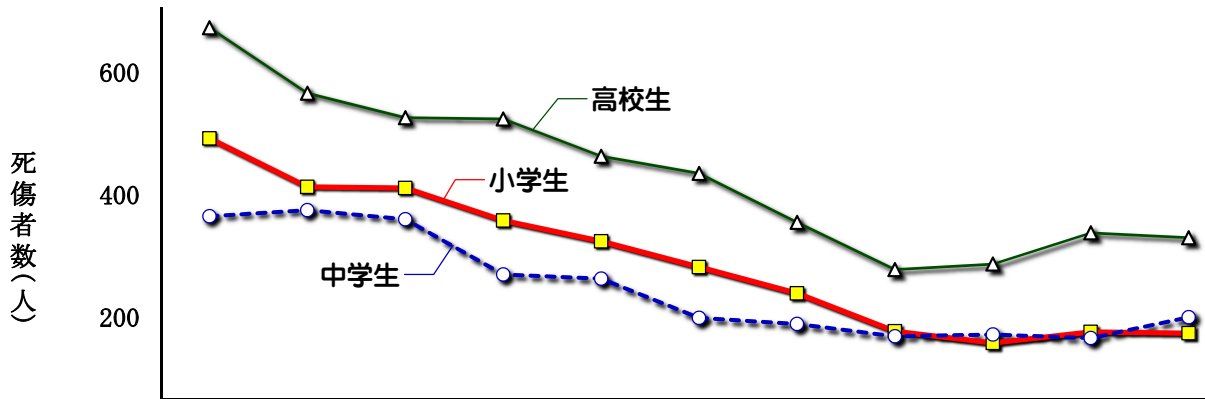
※1 死亡事故率 = (原付以上第1当事者の死亡事故件数) ÷ (原付以上第1当事者の全発生件数) × 100。
 ※2 死亡事故第1当事者のうち、自転車・歩行者・ひき逃げ不明(5件)を除く。
 ※3 全事故第1当事者のうち、自転車・歩行者・ひき逃げ不明(208件)を除く。

3 小学生・中学生・高校生が関係した交通事故

小学生・中学生・高校生死傷者数の推移(平成25年～令和5年)

各学齢とも減少傾向で推移

- 小学生は減少傾向で推移、平成25年に比べ約35%に減少。
- 中学生は減少傾向で推移したが、令和5年は増加。平成25年に比べ約55%に減少。
- 高校生は令和2年まで連続減少後、令和3年から2年連続で増加したが、令和5年は減少。平成25年に比べ約49%に減少。



		H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
小学生	死傷者数	492	413	411	358	324	282	239	177	158	176	174
	死者数	-	2	-	1	-	1	-	2	-	-	2
中学生	死傷者数	365	375	360	270	263	199	189	169	172	166	200
	死者数	-	3	2	-	-	1	-	-	-	-	-
高校生	死傷者数	673	566	526	524	463	435	355	278	287	338	330
	死者数	4	4	2	3	1	1	6	1	1	2	1

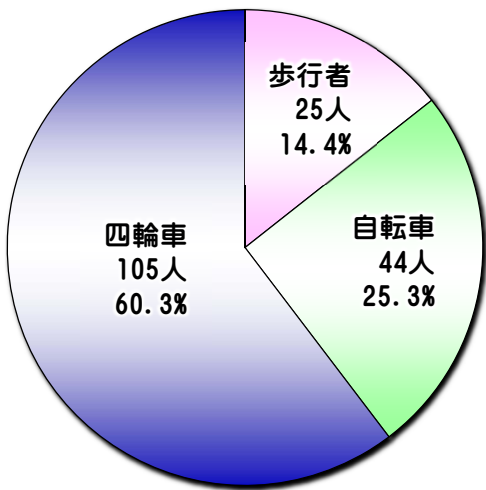
※ 「死者数」は「死傷者数」の内数。以下同じ。

小学生の状態・通行目的別死傷者数

四輪車(同乗中)が6割を超え最多

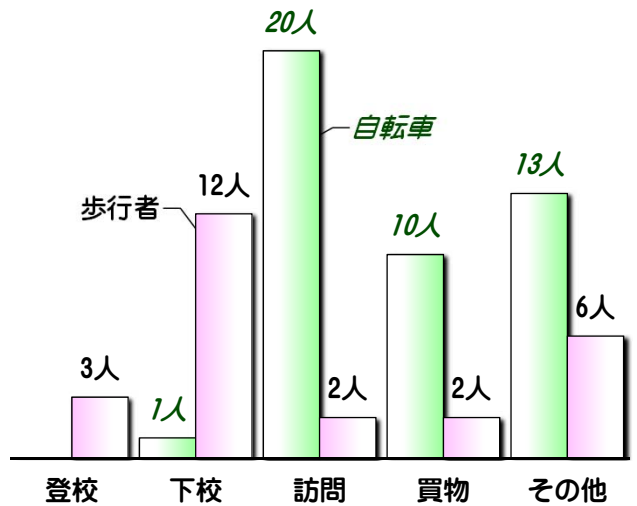
- 状態別では「四輪車(同乗中)」が105人で、60.3%を占め最も多く、次いで「自転車」(44人)。
- 歩行者の通行目的では「下校」(12人)が最も多く、登下校時の「通学中」(15人)は60.0%を占める。
- 自転車の通行目的では「訪問」(20人)が最も多い。

令和5年小学生の死傷者数 174人中



※ 「四輪車」は全て同乗者。

自転車・歩行者(69人)の通行目的



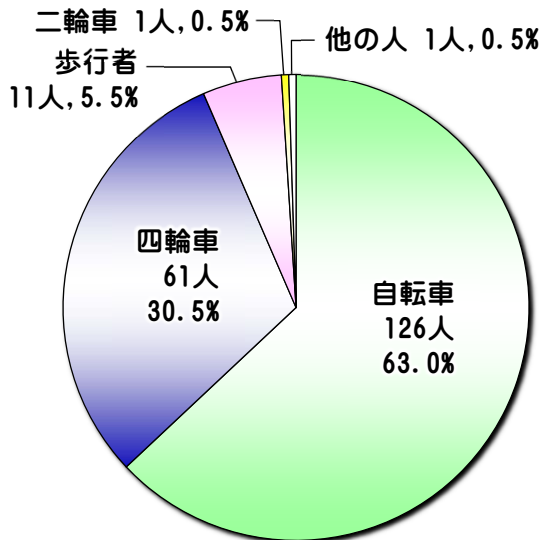
※ 「通学中」: 自転車1人(2.3%)、歩行者15人(60.0%)

中学生の状態・通行目的別死傷者数

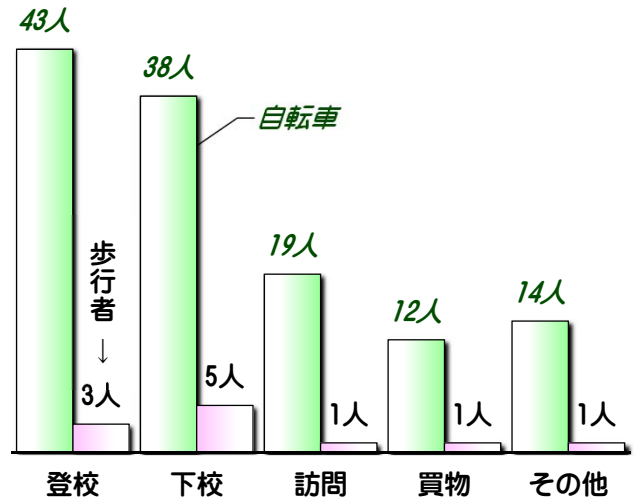
自転車が6割を超え最多

- 状態別では「自転車」が126人で、63.0%を占め最も多く、次いで「四輪車(同乗中)」(61人)。
- 自転車の通行目的では「登校」(43人)が最も多く、登下校時の「通学中」(81人)は64.3%を占める。
- 歩行者の「通学中」は8人(72.7%)。

令和5年中学生の死傷者数 200人中



自転車・歩行者(137人)の通行目的



※1 「四輪車」「二輪車」は全て同乗者。
 ※2 「他の人」とは、道路上の物件の中や上、家屋の中等道路外にいた者等をいう。

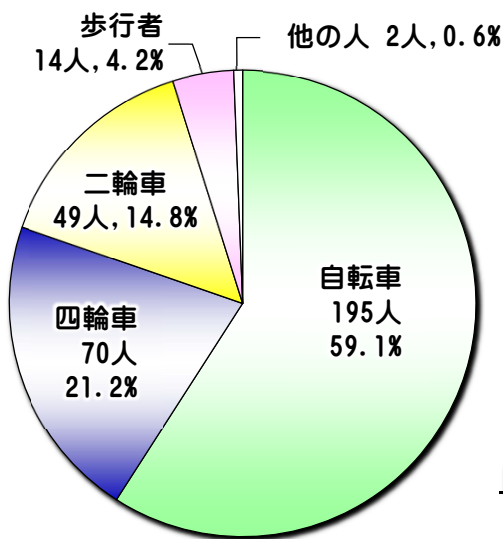
※ 「通学中」: 自転車81人(64.3%)、歩行者8人(72.7%)

高校生の状態・通行目的別死傷者数

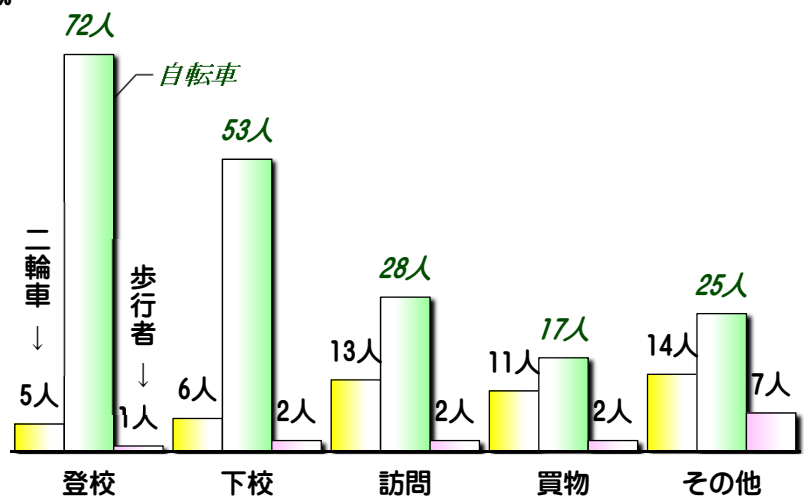
自転車が約6割で最多

- 状態別では「自転車」が195人で、59.1%を占め最も多く、次いで「四輪車」(70人)。
- 自転車の通行目的では「登校」(72人)が最も多く、登下校時の「通学中」(125人)は64.1%を占める。
- 二輪車の「通学中」は11人(22.4%)、歩行者の「通学中」は3人(21.4%)。

令和5年高校生の死傷者数 330人中



二輪車・自転車・歩行者(258人)の通行目的



※1 「四輪車」「二輪車」には運転者を含む。
 ※2 「他の人」とは、道路上の物件の中や上、家屋の中等道路外にいた者等をいう。

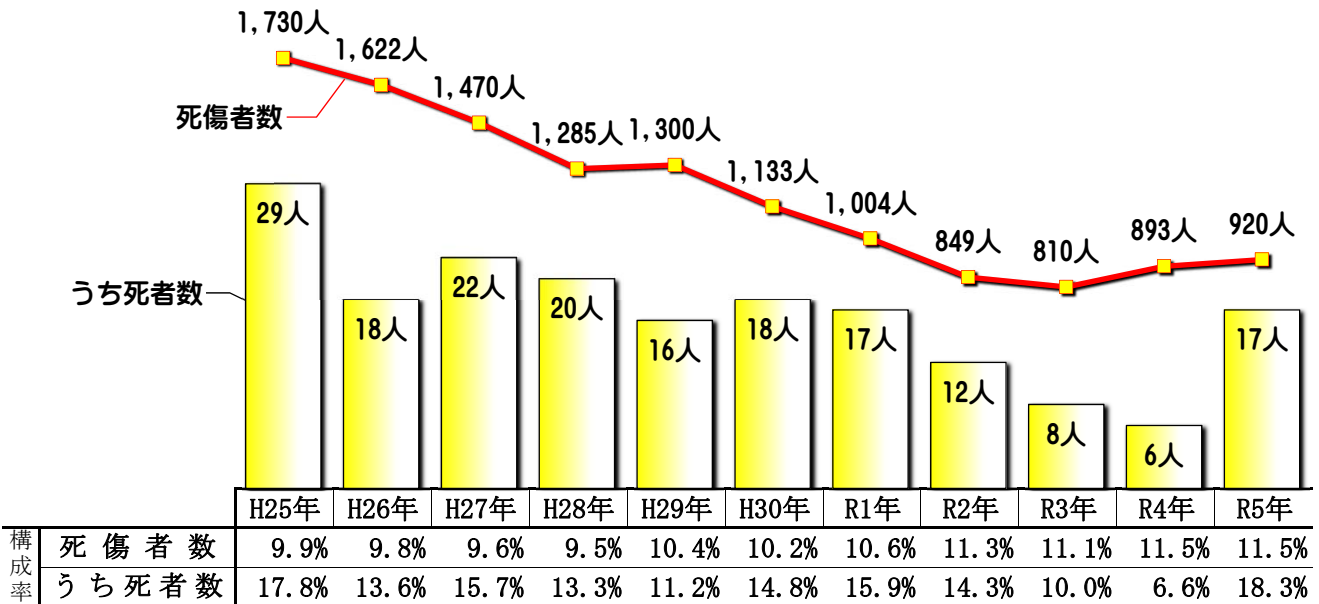
※ 「通学中」: 二輪車11人(22.4%)、自転車125人(64.1%)、歩行者3人(21.4%)

4 自転車に関係した交通事故

自転車の死傷者数の推移(平成25年～令和5年)

死傷者数、死者数とも前年より増加

- 死傷者数は920人、減少傾向で推移したが、令和4年から2年連続で増加。全死傷者数に占める割合(構成率)は11.5%。
- 死者数は令和元年から4年連続で減少したが、令和5年は増加。全死者数に占める構成率は18.3%。



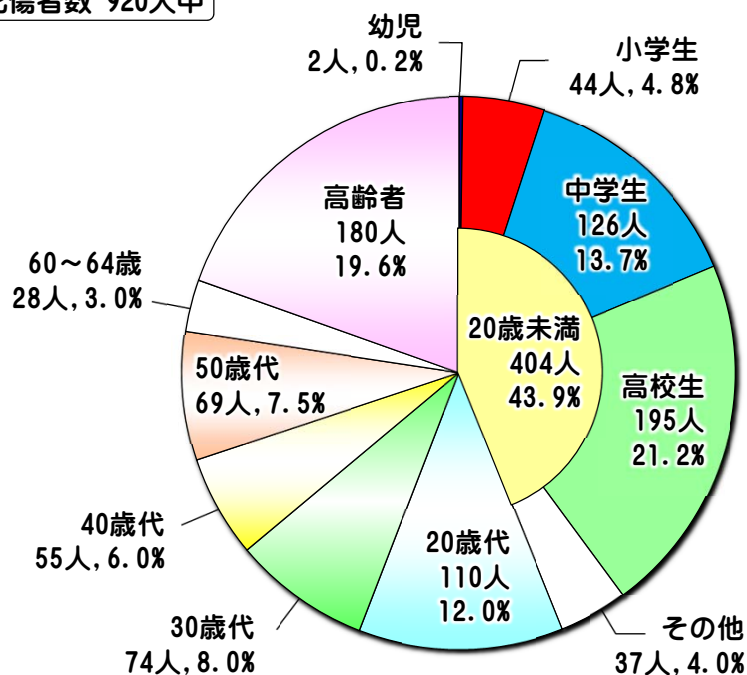
※1 「死者数」は「死傷者数」の内数。以下同じ。 2 「構成率」は全死傷者数、全死者数に占める割合。

年齢層・学齢別死傷者数

20歳未満が最多

- 「20歳未満」が404人で、全死傷者数の43.9%を占め最も多く、次いで「高齢者」(180人)。
- 学齢別では「幼児」が2人、「小学生」が44人、「中学生」が126人、「高校生」が195人。

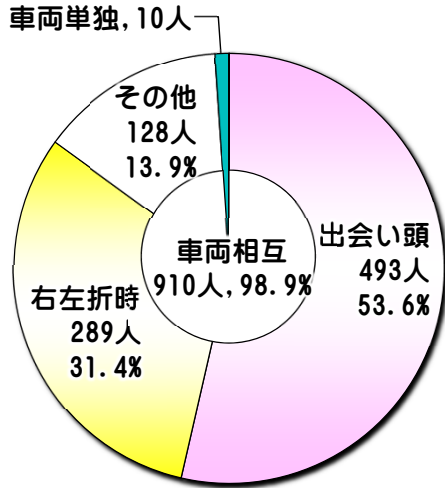
令和5年自転車死傷者数 920人中



事故類型別死傷者数

出会い頭が5割を超える

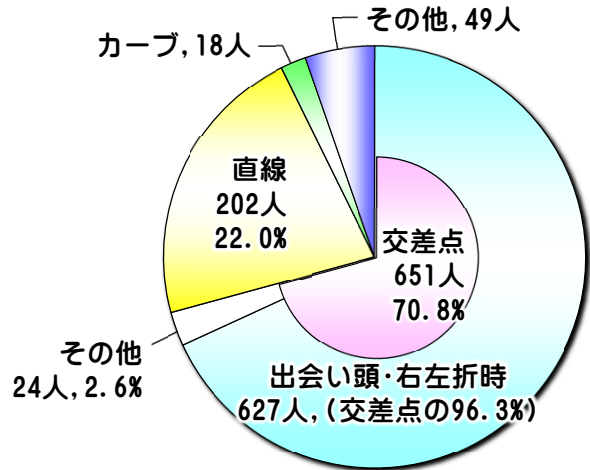
- 「車両相互」が910人で、98.9%を占める。
- 小類型では「車両相互-出会い頭」(493人)が、最も多く、次いで「右左折時」(289人)。



道路形状別死傷者数

交差点が約7割を超える

- 「交差点」が651人(70.8%)で最も多く、次いで「直線」(202人)。
- 交差点の651人中、「出会い頭」、「右左折時」が96.3%を占める。

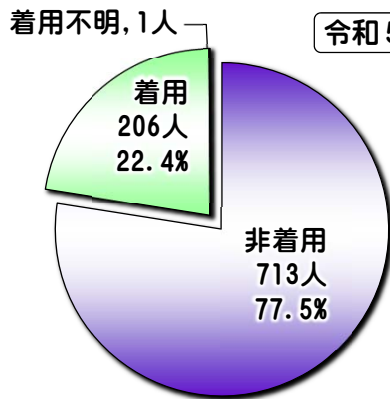


令和5年自転車死傷者数 920人中

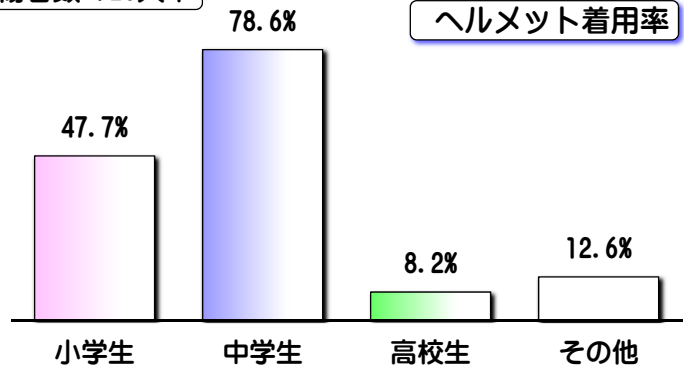
ヘルメット着用別死傷者数

非着用が約8割

- 「非着用」が713人(77.5%)、「着用」が206人(22.4%)、「着用不明」が1人。
- 年齢別ヘルメット着用者の構成率では、「中学生」が78.6%と高く、「高校生」(8.2%)が低い。



令和5年自転車死傷者数 920人中

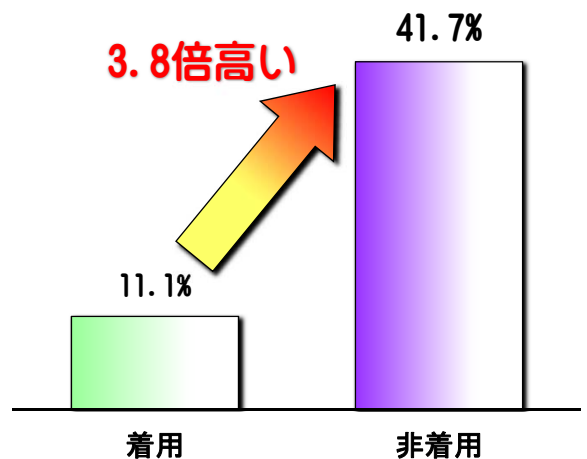


頭部損傷の死亡重傷率比較

非着用が3.8倍高い

- 頭部損傷の死亡重傷率では、「ヘルメット非着用」が41.7%で、「着用」(11.1%)に比べ3.8倍高い。

	頭部損傷			合計	死亡重傷計	
	死亡	重傷	軽傷		人数	率
非着用	11人	24人	49人	84人	35人	41.7%
着用	-	1人	8人	9人	1人	11.1%



※ 「死亡重傷率」= (死者数+重傷者数) ÷ 死傷者総数 × 100

5 高齢者(65歳以上)が関係した交通事故

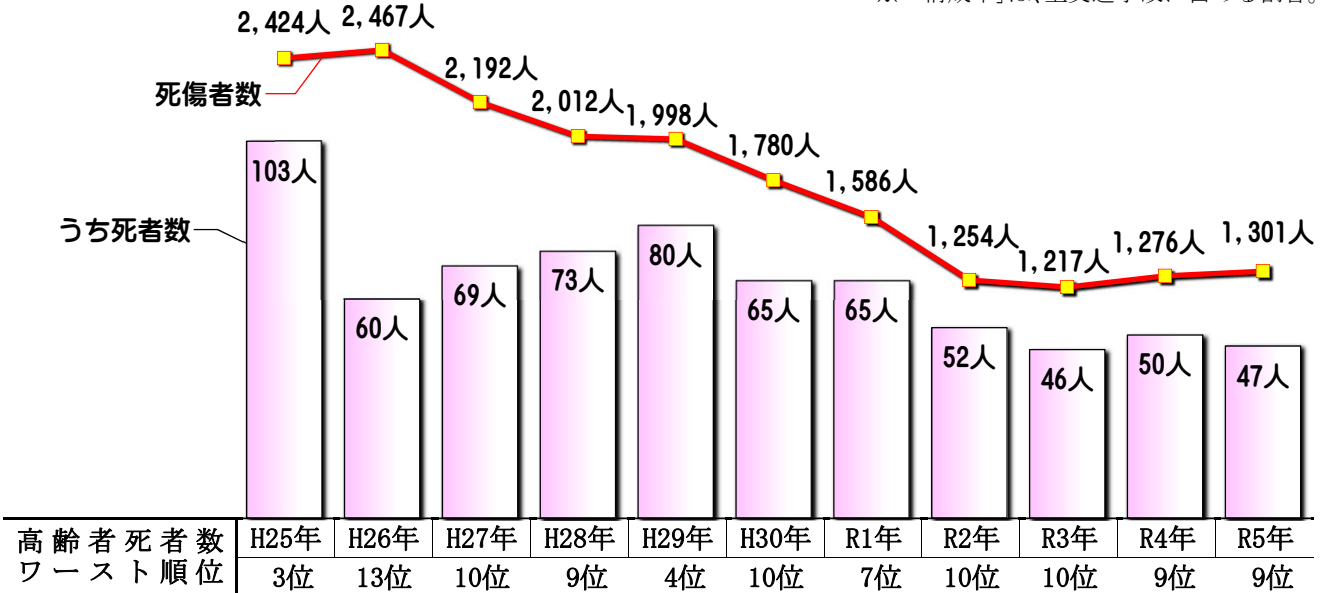
高齢者が関係した交通事故の推移(平成25年～令和5年)

死者数は47人、前年比では3人減少

- 死傷者数は1,301人。平成27年から7年連続で減少したが、令和4年から2年連続で増加。
- 死者数は47人、前年比-3人と減少。全死者数に占める割合(構成率)は50.5%(前年54.9%)。
- 死者数47人は、全国ワースト9位【前年9位】。

	死傷者数		合計
	死者数	負傷者数	
令和5年	47	1,254	1,301
令和4年	50	1,226	1,276
増減数	-3	+28	+25
構成率	50.5%	15.9%	16.3%

※「構成率」は、全交通事故に占める割合。

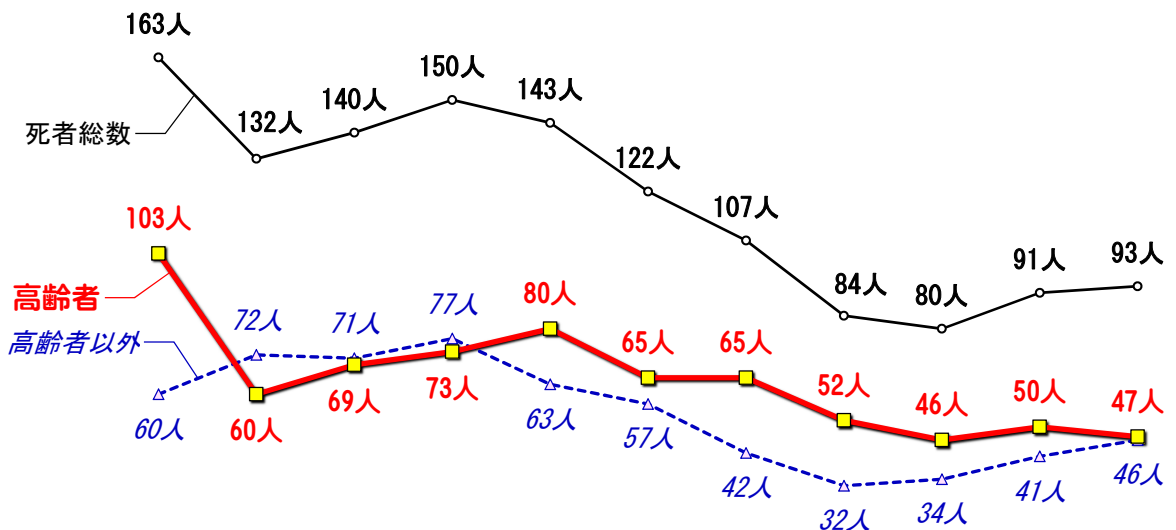


※「死者数」は「死傷者数」の内数。以下同じ。

全死者数と高齢者死者数の推移(平成25年～令和5年)

高齢者の死者数が5割を超える

- 死者総数は減少傾向で推移したが、令和4年から2年連続で増加。
- 高齢者の死者数は、平成30年から減少傾向で推移、令和4年に増加したが、令和5年は減少。
- 高齢者の構成率は、上昇下降を繰り返して推移、令和2年(61.9%)以降は、3年連続で下降。



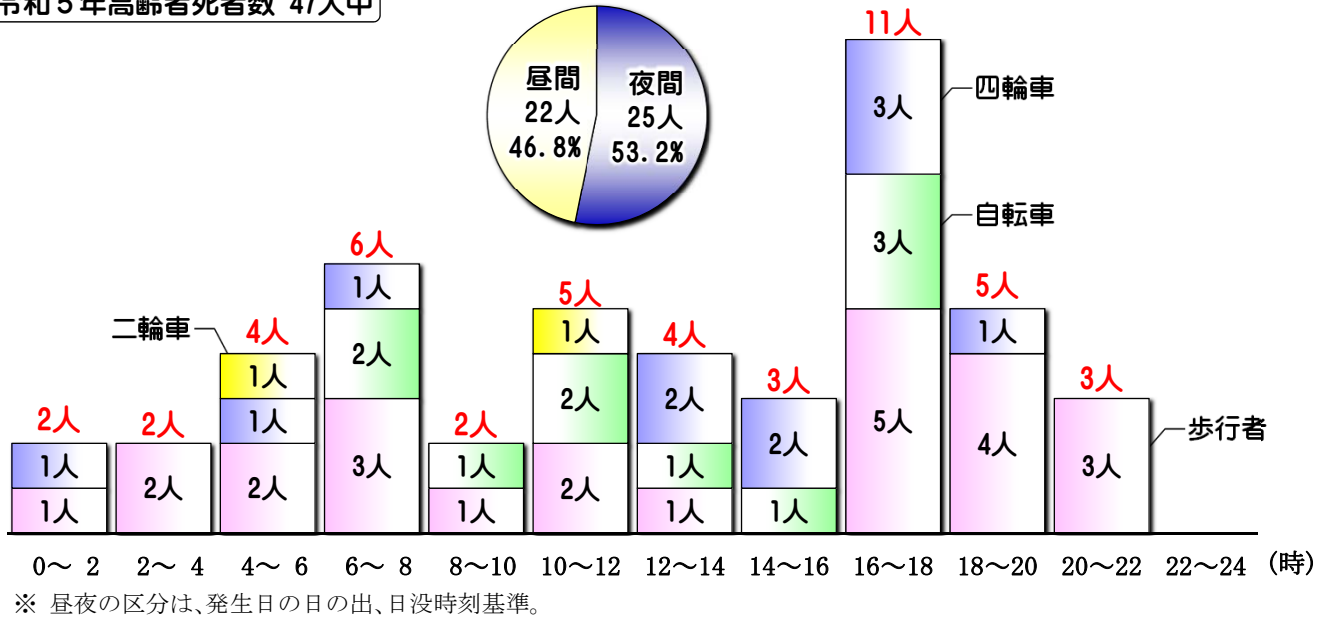
高齢者構成率	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
構成率	63.2%	45.5%	49.3%	48.7%	55.9%	53.3%	60.7%	61.9%	57.5%	54.9%	50.5%

時間帯・昼夜・状態別死者数

16~18時が最多

- 時間帯では「16~18時」(11人)が最も多く、次いで「6~8時」(6人)。
- 昼夜別では「夜間」が25人(53.2%)と多く、昼間は22人(46.8%)。
- 時間帯・状態別では「16~18時の歩行者」(5人)が最も多く、次いで「18~20時の歩行者」(4人)。
- 夜間の25人中、歩行者が17人で、68.0%を占める。

令和5年高齢者死者数 47人中

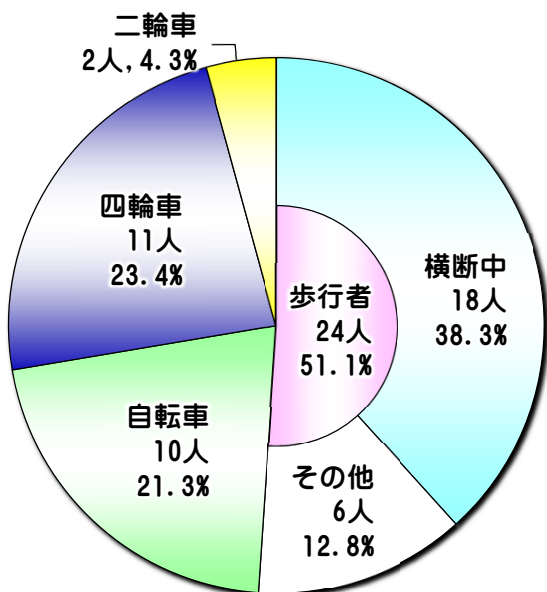


状態別死者数

歩行者が最多

- 「歩行者」が24人(51.1%)で最も多く、次いで「四輪車」(11人)。
- 歩行者、自転車の合計は34人、高齢者死者数の72.3%占める。このうち25人(73.5%)は運転免許を保有しておらず、18人(52.9%)は、自宅から半径500m以内で事故に遭っている。

令和5年高齢者死者数 47人中

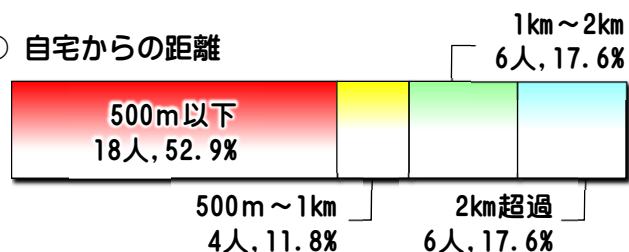


歩行者・自転車 34人中

運転免許保有状況



自宅からの距離



6 高齢(65歳以上)運転者による交通事故

高齢運転者による交通事故の推移(平成25年~令和5年)

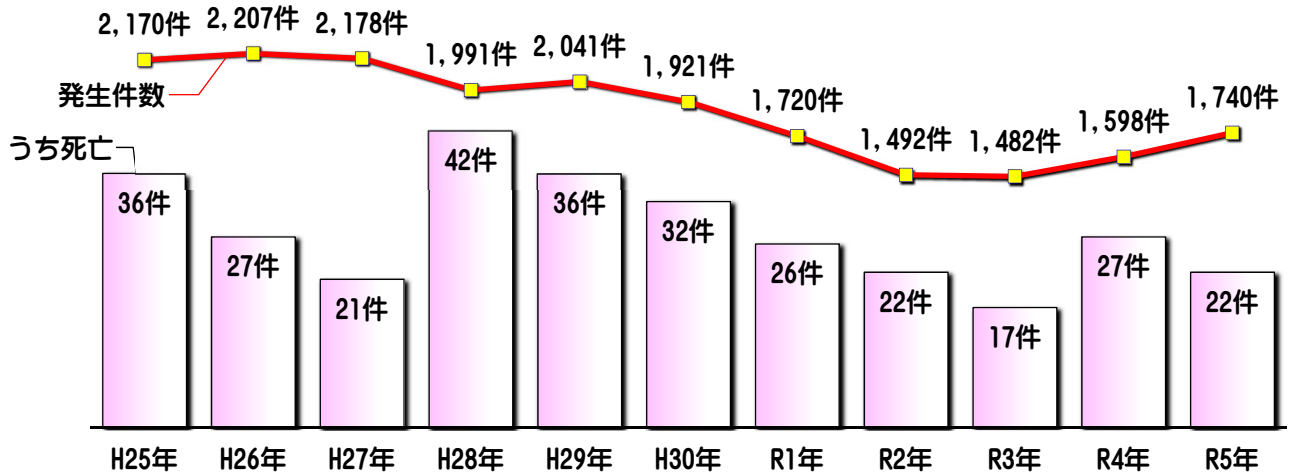
発生件数は2年連続増加

- 発生件数は1,740件、平成30年から4年連続で減少したが、令和4年から2年連続で増加。
全人身事故発生件数に占める割合(構成率)は26.8%(前年25.5%)で、統計資料の残る平成2年以降、最高率を更新。
- 死亡事故(件数)は22件、平成29年から5年連続で減少後、令和4年に増加したが、令和5年は減少。全死亡事故(件数)に占める構成率は23.9%(前年30.7%)で、前年より下降。

	発生件数		死者数	負傷者数
		うち死亡		
令和5年	1,740	22	22	2,115
令和4年	1,598	27	27	1,943
増減数	+142	- 5	- 5	+172
構成率	26.8%	23.9%	23.7%	26.8%

※「構成率」は、全交通事故に占める割合。

※「構成率」は、全交通事故に占める割合。
※「構成率」は、全交通事故に占める割合。

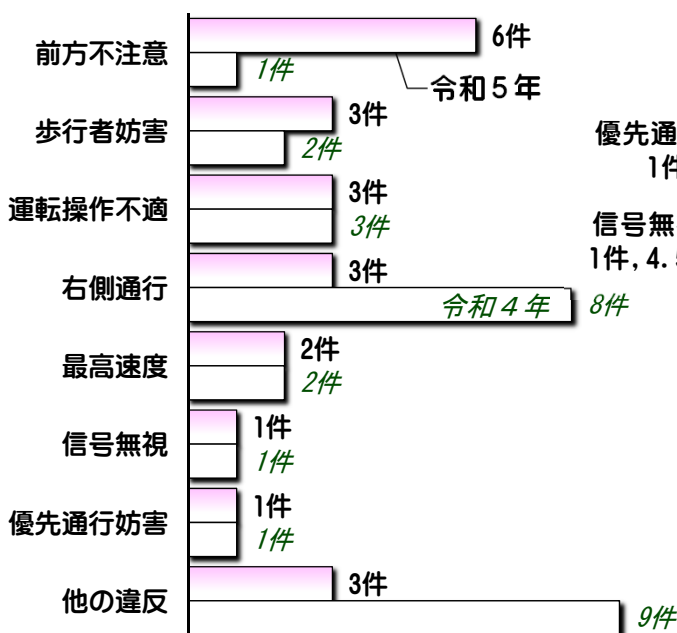


※1 発生件数は、原付以上の車両を運転中の高齢者(65歳以上)が第1当事者となった事故件数。死者数、負傷者数は、その事故による全被害で、高齢運転者が死傷しているとは限らない。以下同じ。
2 死亡事故件数は、発生件数の内数。

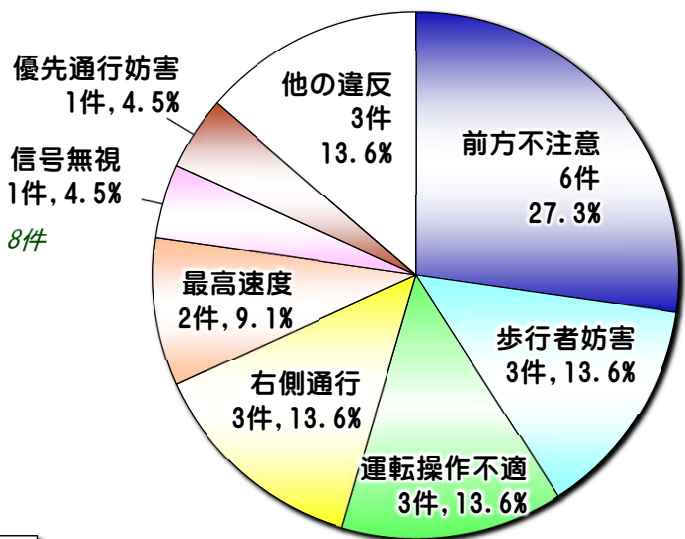
原因別死亡事故件数

前方不注意が最多

- 「前方不注意」が6件(27.3%)で最も多い。
- 前年比では「前方不注意」(+5件)が最も増加、「右側通行」(-5件)が最も減少。



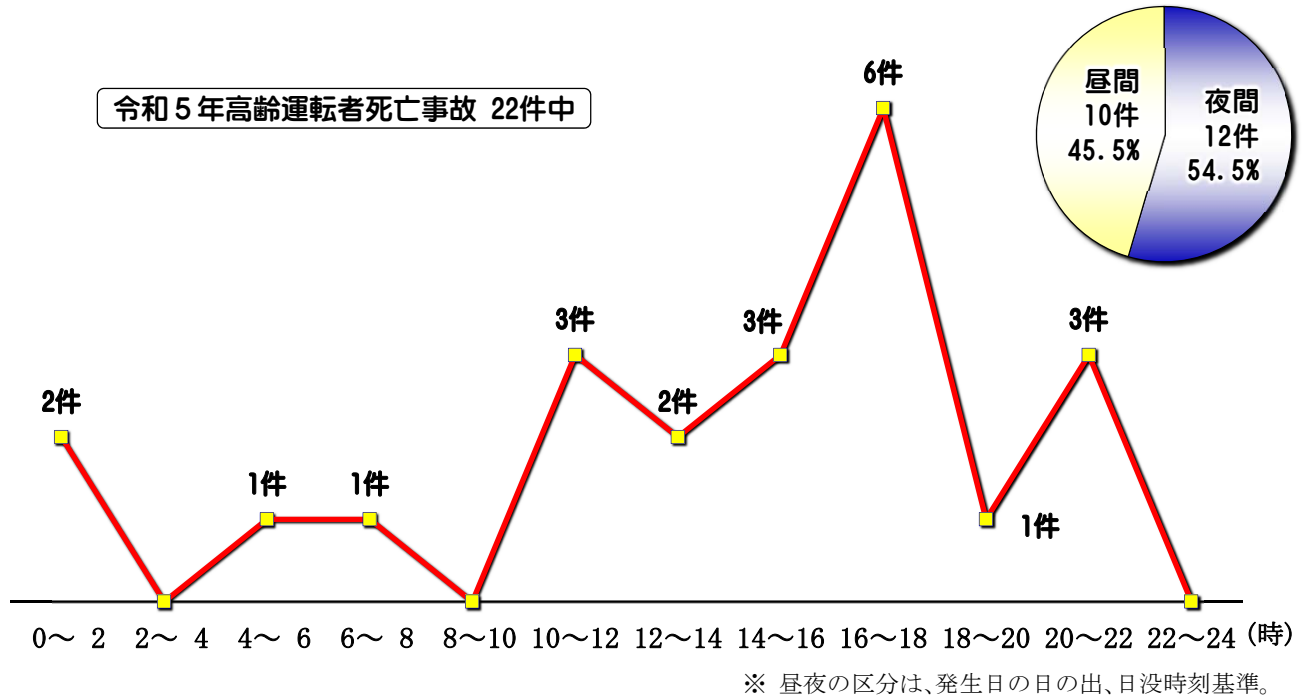
令和5年高齢運転者死亡事故 22件中



時間帯・昼夜別死亡事故件数

夜間が5割を超える

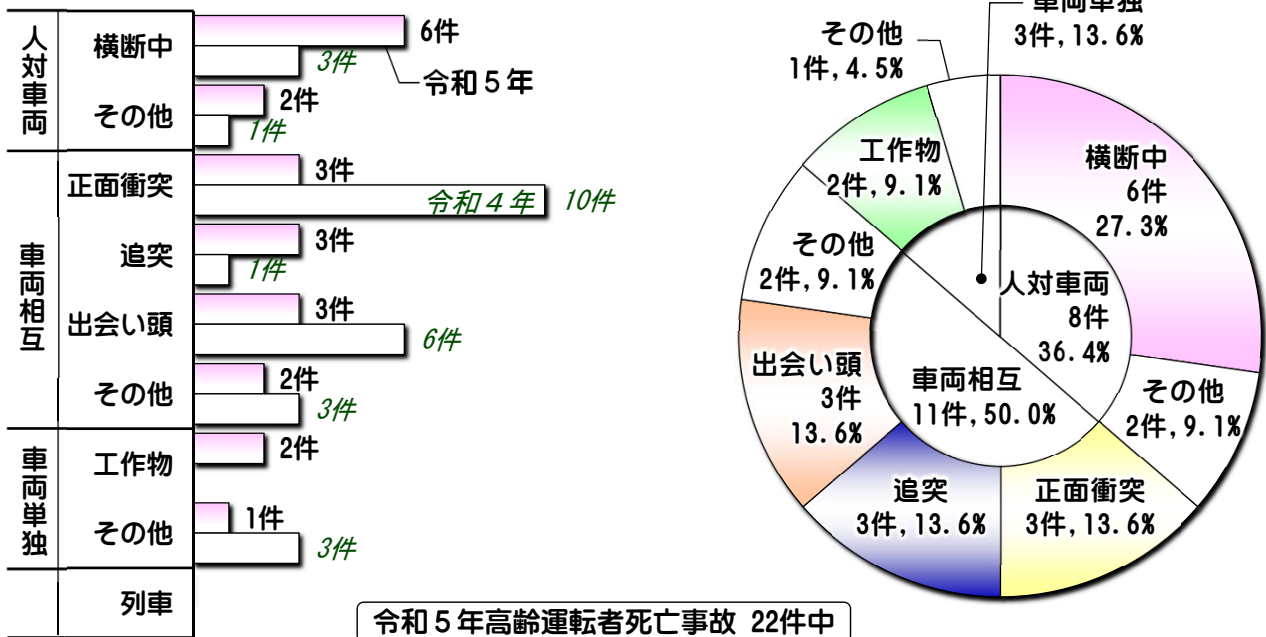
- 時間帯では「16～18時」が6件で最も多い。
- 昼夜別では「夜間」が12件(54.5%)と多く、「昼間」は10件(45.5%)。



事故類型別死亡事故件数

人対車両-横断中が最多

- 「車両相互」が11件(50.0%)で最も多く、次いで「人対車両」(8件)。
- 小類型では「人対車両-横断中」(6件)が最も多く、次いで車両相互の「正面衝突」・「追突」・「出会い頭」(各3件)。

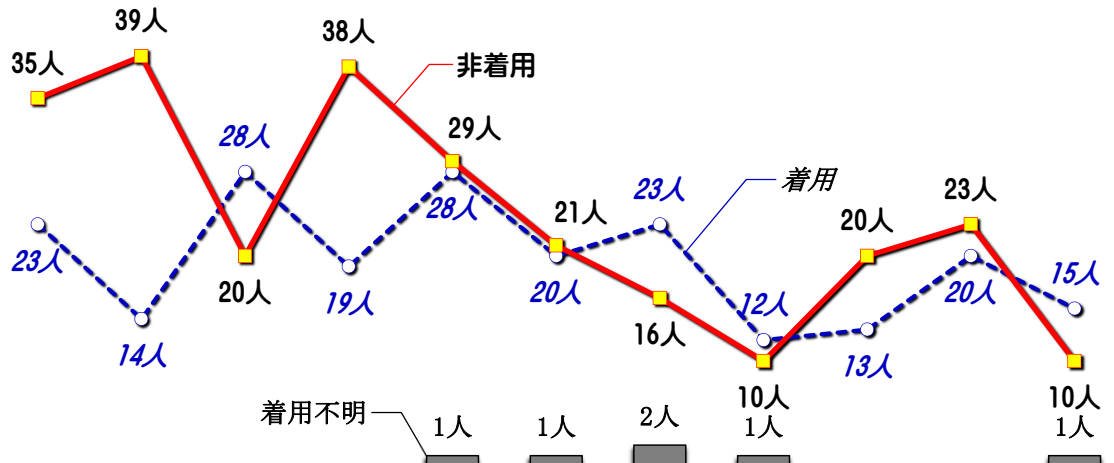


7 シートベルト着用状況

シートベルト着用別死者数の推移(平成25年～令和5年)

シートベルト非着用死者数は約4割

- シートベルト非着用死者数は10人、平成29年から4年連続で減少後、令和3年から2年連続で増加したが、令和5年は減少。
- シートベルト着用死者数は15人、増減を繰り返して推移後、令和3年から2年連続で増加したが、令和5年は減少。

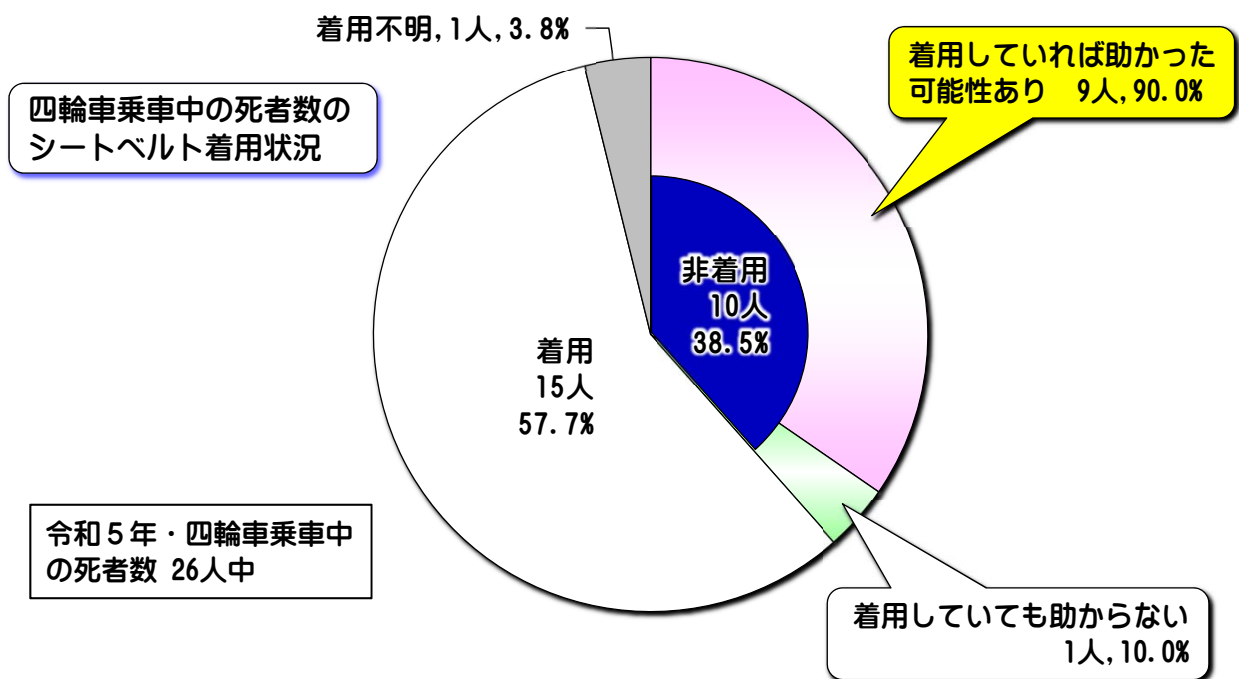


		H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
構成率	非着用	60.3%	73.6%	41.7%	66.7%	50.0%	50.0%	39.0%	43.5%	60.6%	53.5%	38.5%
	着用	39.7%	26.4%	58.3%	33.3%	48.3%	47.6%	56.1%	52.2%	39.4%	46.5%	57.7%
	着用不明	-	-	-	-	1.7%	2.4%	4.9%	4.3%	-	-	3.8%

※ シートベルト着用状況の対象は、トラクター等の特殊車を含む四輪車の乗員全て。

シートベルト非着用死者数の9割は、着用していれば助かった可能性あり

- 四輪車乗車中の死者数26人のうち、「シートベルト非着用」は10人(38.5%)、「着用」は15人(57.7%)、「着用不明」が1人。
- 「非着用」10人中、90.0%に当たる9人は、シートベルトを着用していれば助かった可能性あり。



8 令和6年 交通安全年間スローガン

一般部門 A：運転者（同乗者を含む）に呼びかけるもの

- ◎ 今日もまた あなたの無事故 待つ家族
- 抜け道と 思うな そこは通学路
- 挙げる手を やさしく見守る 横断歩道

一般部門 B：歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの

- ◎ 身につけよう 交通ルールと ヘルメット
- 車だけ？ 交通ルールは 皆のもの
- さあ青だ 踏み出す前に 再確認

こども部門：子供たちに交通安全を呼びかけるもの

- ◎ わたるまえ わすれずかくにん みぎひだり
- しんごうき あおでもかくにん わすれない
- 見つけてね ピカピカぼくの はんしゃざい
- ちょっと待て 車のかけから もう1台

問い合わせ先

茨城県警察本部交通部交通総務課

郵便番号 310-8550

所在地 水戸市笠原町978番6

電話 029(301)0110 内線5042

URL https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/a02_traffic/index.html

E-mail keikoso@pref.ibaraki.lg.jp